

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスコードモノ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 5日		2026年 3月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 3月 5日		2026年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動プログラム	活動内容は固定化せず、毎回新しい内容を取り入れることで、児童が期待感を持って楽しく参加できることを目指している。活動を通して成功体験を積み重ね、自己肯定感や自信に繋げるとともに、勝ち負けの経験や他児童との関わりを通して、集団での過ごし方や社会性を身につけられるよう支援している。	活動内容のさらなる工夫やバリエーションの拡充を図るとともに、児童の発達段階や特性に応じた関わりをより意識し、個々に応じた支援の充実を目指す。また、職員間での共有や振り返りを通して、支援の統一と質の向上に努める。
2	安心感を持って通うことができている	安心して通い、楽しく活動に参加できるよう、職員が肯定的な言葉掛けを心掛け、小さなことでも成功体験を積み重ねられるよう支援している。また、他者と安心して関わりができるよう、SST活動を取り入れ、関わり方や気持ちの伝え方等を学ぶ機会を設けている。園以外でも安心して過ごせる居場所となるような環境づくりを大切に支援を行っている。	安心して過ごせる環境を大切にしながら、成功体験を積み重ね、自信や自己肯定感に繋げるとともに、コミュニケーション力や社会性、将来の自立に向けた力を育てていけるよう支援に努める。
3	特性や個々のペースに合わせた支援	児童一人ひとりの発達段階や特性、ペースに合わせて活動内容や課題の難易度を調整し、無理なく参加できるように配慮している。また、興味や得意なことを取り入れながら、意欲的に活動へ参加できるよう支援を行っている。職員間で情報共有を行い、支援方法や関わり方を統一することで、安心して過ごせる環境づくりを心掛けています。	職員研修や職員間での話し合いの機会を更に設け、支援の質の向上に努める。また、保護者や関係機関との連携を深め、児童の様子や課題を共有しながら、より一人ひとりに合った支援を心掛ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害訓練を行っているが周知不足	訓練の実施について、ブログや連絡帳、月の予定表にて発信をしているが認知されていない。	これまで通りブログや連絡帳、月予定にて発信を行いながらも、新たに通信の発行など、今までの取り組みとは違った方法も検討していく。
2	保護者同士の交流が少ない。	年2回の家族参加型行事以外に、交流できる場を設けることができていない。	希望者を募り、茶話会や父母の会等、気軽に参加できる場を設けていく。小規模での集まりや児童の年齢別での開催など、参加しやすい形を検討し、保護者同士が情報交換や交流を行える機会の増加に取り組む。
3	地域に開かれた行事など、地域との関わりが少ない。	地域参加型の行事を開催しておらず、自然な関わりが生まれる場がない。	今年度は高齢者施設との交流の機会を設けた。次年度は児童発達支援事業所との交流レクリエーションを予定している。今後は地域の関係機関との交流の機会を増やしたり、地域とのつながりを深める取り組みについて検討していく。